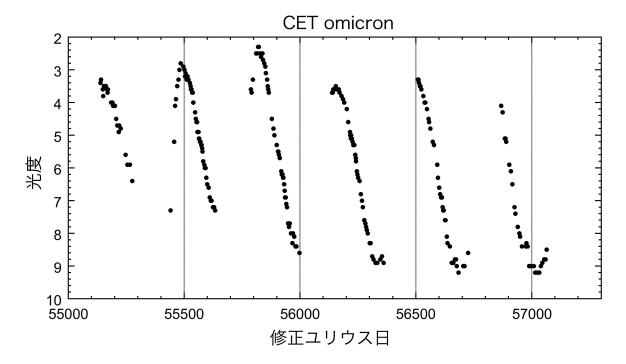
ミラの長期光度曲線 (2009年~2015年)

横須賀駐在員 N.O.

変光星観測を再開してから、はや6年になろうとしています。この6年間、観測を続けてきたミラの光度曲線をプロットしてみました。一昨年から、観測可能時期がちょうど極小付近となり、暗い時には双眼鏡ではなく望遠鏡(8 cm、F6 の短焦点鏡筒)が必要になっています。ですが、やっと念願叶って(?)、極小らしいものを捉える事が出来ました。極小付近では光度が9等台なので、なかなか光度の目測が難しいものがあります。8 cm で何とか目測出来る感じの光度なんですよね。下の図が、2009年から今年までの観測で得られた光度曲線です。横軸は修正ユリウス日で、途切れている部分は観測が出来ない時期に相当しています。プロットされている部分が、観望可能時期に目測して得られたデータからの6シーズンの光度曲線です。



ミラは、その変光周期が長い(約332日)ため、極大と極小を1シーズンで同時に観測するのは難しく、極大か極小のどちらかしか捉えられませんが、2シーズン前には、なんとか両方を目測していた様です。また、このグラフから、極大や極小光度も長期的には変化している様子も何とか分かりますね。来シーズンは、極小からの増光過程も観測出来るのでは、と期待しています。

このグラフを得るまでに、約 2000 日かかりました。さて、あと残りの人生で何周期の観測が出来るでしょうか?